

教育方針	徳・知・体の調和のとれた、人間性豊かで、心身ともにたくましい人間の育成を目指します。	重点目標	仕事を創りに還りたい人材の育成 —確かな学力の向上とアイデンティティの醸成を通して—
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	家庭学習習慣の確立	面談を充実させ、1年時からの習慣付けと課題の工夫により、平常時の家庭学習時間を 120分以上 にし、日々記録を取る。 A：120分以上 B：119分～90分 C：89分～60分 D：59分～30分 E：30分未満	A	時間的な目標はどの学年・類型においても120分以上となり、目標達成できている。進学類型(Ⅱ型)に対する学習習慣の指導はもちろんであるが、就職等の類型(Ⅰ型)への継続的な指導と、学習時間管理の工夫がより必要である。	・考查発表中や考查中以外の期間にも家庭学習時間を確保できるように、適切な課題を与えるなどして学習習慣を身に付けさせる。
	教員の資質・能力の向上	生徒理解に努め、個に応じた指導を充実させる。授業評価アンケートで3.6以上と評価される教科の割合を 80%以上 にする。 A：80%以上 B：79%～70% C：69%～60% D：59%～50% E：50%未満	D	1学期が50%、2学期が60%の教科で3.6以上を達成した。年間の割合は55%となり、昨年度に比べて評価が低くなっている。	・教員の入れ替わりが多く、昨年度との比較で数値が下がった。本校の生徒に応じた指導法を研究し、改善していく。
		校内や校外で行われる研修会(オンラインも含む)に積極的に参加し、研修で得た成果を校内で共有する場を 年8回以上 設ける。 A：8回以上 B：7名 C：6回 D：5回 E：5回未満	A	次年度の学校魅力化の検討会議5回を含み、交通安全研修や情報セキュリティ研修など、様々な研修を1年間で12回実施できた。今年度は防災の指定校にもあっており、県外視察の報告会で全教職員に情報伝達するなど学校安全や防災教育にも力を入れることができた。	次年度以降も、計画的・継続的に研修を実施していく。さらに、校外の研修会にも積極的に参加し、得た情報を他の教員とも共有できる仕組みを確立していく。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	年間欠席日数10日未満の生徒 80%以上 を目指し、心身ともにたくましい生徒の育成を図る。 A：80%以上 B：79%～70% C：69%～60% D：59%～50% E：50%未満	B	全体として74.0%を達成の達成率となり、目標に届かなかった。学年によってばらつきがあり、1年生は82.1%達成しており初期指導はしっかりできていると感じる。	すべての学年で80%以上を達成できるように、普段からの声掛けや教科・学年を超え学校全体で協力しながら一貫した指導をしていく。
	規範意識の高揚	自らが考えて、交通安全や身だしなみ等の規範意識を高めることができる生徒の育成を図る。	A	自転車安全点検等での交通安全指導や、サイクリングガイドのイベントを実施するなど、交通安全に対する意識の向上を図った。また、身だしなみ指導の回数を減らすことにより、自分で考えて身だしなみを整える習慣付けを行った。	・地域と連携して交通安全教室を開催する。 ・自分が意識しての身だしなみを考えさせる。
	人権・同和教育の充実	人権デーの充実や地域の「ふれあい学習会」を通じて、自他の生命の尊さや人権尊重の意識を持たせる。	A	東予地区人権・同和教育推進協議会研修会の実践校として、年間を通して人権・同和教育に力を入れて取り組むことができた。	「地域ふれあい学習会」や「あいあいフェスタ」など、上島町が主催するイベントにも生徒が積極的に参加できるよう呼びかける。

教育方針	徳・知・体の調和のとれた、人間性豊かで、心身ともにたくましい人間の育成を目指します。	重点目標	仕事を創りに還りたい人材の育成 —確かな学力の向上とアイデンティティの醸成を通して—
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	進路実現への意識の高揚	生徒の興味・関心を意識し、進路ガイダンスなどのキャリア教育の充実を図りながら、早期に進路目標を明確にする生徒 100% を目指す。 A : 100% B : 99%~ 90% C : 89%~ 80% D : 79%~ 70% E : 70%未満	B	進路ガイダンスは年間2回実施し、就職希望者には応募前職場見学を促すなど、進路目標を明確にする指導ができた。1年生で進路に迷っている生徒がおり、100%は達成することができなかった。	年間2回の進路ガイダンスは継続して行い、面談などを充実させ、生徒の進路を早期に決定できるよう指導していきたい。
	就職・進学指導の充実	生涯を見通した人生設計ができる生徒を育成し、一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、進路希望達成率 100% を目指す。 A : 100% B : 99%~ 90% C : 89%~ 80% D : 79%~ 70% E : 70%未満	A	就職希望者1名の進路がなかなか決定しなかったが、最終的には進学希望者・就職希望者全員の進路希望達成率100%となった。卒業生20名のうちほとんどの生徒が希望どおりの進学先、就職先に進んだ。	就職希望者の面接指導や、国公立大学の2次試験対策など、全教職員が組織的に指導を行う体制を構築することができたため、来年度も継続して行っていきたい。
特別活動	部活動及び学校行事の充実	部活動で積極的に活動する生徒を目指し、一人ひとりが輝ける場面をつくる。 A : 100%~ 95% B : 94%~ 90% C : 89%~ 85% D : 84%~ 80% E : 80%未満	A	全校生徒全員が部活動に入部し、そのうち兼部生徒が13おり、積極的に活動できている(100%)と言える。少ない部員数でも工夫して練習を行い、地域の大会、行事等に積極的に参加することができた。	来年度は部活動の強制参加を廃止するため、新たな目標を決めて部活動を活性化させていく。
	地域と密着した教育の推進	地域創生に関する課題研究を2件以上実施し、地域を元気にする活動等へ一人年間 5回以上 参加することにより、社会や地域に貢献できる人材を育成する。 A : 5回以上 B : 4回 C : 3回 D : 2回 E : 2回未満	B	「地域を元気にする活動等」の総数が減少したため、目標達成できなかった(4.0回)が、コロナ前の状態に少しずつ戻りつつある。様々なボランティアの要請には積極的に参加しており、地域の方や参加者からの評価は高い	生徒自身が「地域を元気にする活動等」を創造できるように促す。
教育全般	魅力ある学校づくり	地域人材を活かした教育活動を展開することで、魅力ある学校づくりを推進するとともに、上島町の中学3年生の総数に対する本校への入学生徒の割合 65%以上 を目指し、また、県外からの入学生を確保する。 A : 65%以上 B : 64%~ 55% C : 54%~ 45% D : 44%~ 35% E : 35%未満	E	上島町の中学3年生の27%の出願に留まり、目標が達成できなかった。しかし、地域みらい留学の募集を積極的に行い、県外(因島以外)からの出願者数が大幅に増え18名となり、因島を含めた県外からの出願者数は25名となった。	令和6年度の上島町の中学3年生は今年度と同様の30名であり、半数の50%(15名)以上の入学を目指し、県外からは引き続き20名前後の入学を目指す。
業務改善	適切な勤務時間	教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。	B	10月の職員会議で、令和5年度上半期における勤務時間外在校時間について報告を行い、自身の勤務時間の状況を把握し、校務の適正化や心身のリフレッシュを図るよう周知した。	校務支援システムの活用を推進するとともに、テレワークや時差出勤を活用し、業務の効率化を目指す。
	職場環境の整備	健康管理医による健康相談等を定期的実施し、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。	B	教職員厚生室からの「健康相談室だより」やメンタルヘルス関係事業・福利厚生制度に関する文書を回覧し、積極的に活用できるよう情報提供を行った。	健康管理医による健康相談の定期的な実施を検討し、メンタルヘルスケアの向上に努める。

※ 評価は5段階(A : 十分な成果があった B : かなりの成果があった C : 一応の成果があった D : あまり成果がなかった E : 成果がなかった)とする。